



社団法人 産業環境管理協会
製品環境情報事業センター
エコリーフ事業室

<http://www.jemai.or.jp>

Ver3.2

エコリーフ環境ラベル作成支援システム

操作マニュアル

- 目次 -

1. エコリーフ環境ラベル作成支援システム概要	3
1.1. はじめに.....	3
1.2. 目的.....	3
1.3. 対象.....	3
1.4. 流れ.....	4
2. 動作環境.....	5
2.1. オペレーティングシステム.....	5
2.2. アプリケーションプログラム	5
2.3. Excelの設定	5
2.3.1 Excel 2007のセキュリティレベルの変更方法	6
2.3.2 Excel 2010のセキュリティレベルの変更方法	8
3. 基本操作とシステム準備	10
3.1.1 メインメニュー画面	10
3.1.2 システム起動.....	11
3.1.3 システム停止.....	12
3.2. JEMAI 提供データ取込(機能概要)	13
3.2.1 エコリーフ原単位.....	14
3.2.2 エコリーフ特性化係数.....	15
3.2.3 データシート取込	16
3.3. ライセンス更新	18
4. データ入力処理.....	19
4.1. 製品概要画面.....	19
4.2. フロー図等入力.....	21
4.3. 内訳データ入力メニュー	25
4.3.1 部組・シートおよび共通操作	25
4.3.2 製品用入力画面.....	29
4.3.3 製造サイト用入力画面.....	33
4.3.4 ステージ用(【物流】【使用】【廃棄】【リサイクル】)入力画面	39
4.3.5 解説入力	42
5. 計算出力処理.....	43
5.1. ラベル作成	43
5.1.1 各種データ表示.....	43

5.1.2 検証書類用フォルダ作成	44
5.1.3 JEMAI提出用書類の作成方法	45
5.1.4 ファイルの保存	45
5.1.5 様式1（PEAD）の作成	47
5.1.6 ファイル作成の注意点	47
5.2. 製品解析	48
5.2.1 解析内訳データ表示	49
5.2.2 グラフ表示	49
6. データ保守メニュー	50
6.1. バックアップ	51
6.2. リストア	51
6.3. 削除	51
6.4. インポート	52
6.5. エクスポート	53
6.6. エクスポート先・新規フォルダの作成	53
付録.計上ステージ一覧	54

1. エコリーフ環境ラベル作成支援システム概要

1.1.はじめに

JEMAIが提供する本ソフトは、エコリーフ環境ラベルプログラムに参加者を支援する目的で用意されている。その使用は本ラベル作成に限定され、またその全てまたは一部をエコリーフの許可無く他目的に流用することは禁じられている。

1.2.目的

「エコリーフ環境ラベル作成支援システム概要－目的」

タイプIII 環境ラベルの作成は、LCA 計算の実施そのものとも言えるため、以下の膨大な計算の各工程が大きな負担となる。

- ①LCA 計算に必要な元データ収集
- ②LCA 手法によるデータ加工
- ③LCA 入力データへの変換
- ④上記データ、原単位データと特性化係数データを用いたインベントリ分析とインパクト評価

本支援ソフトは上記③、④の作業を、JEMAI が提供する原単位・特性化係数DB も内包した自動計算ソフトウェアで実行させることで上記の膨大な計算・書類作成作業をカバーし、作業能率の向上、データ信頼性の向上と共にラベル検証行為の負担軽減にも貢献するものである。

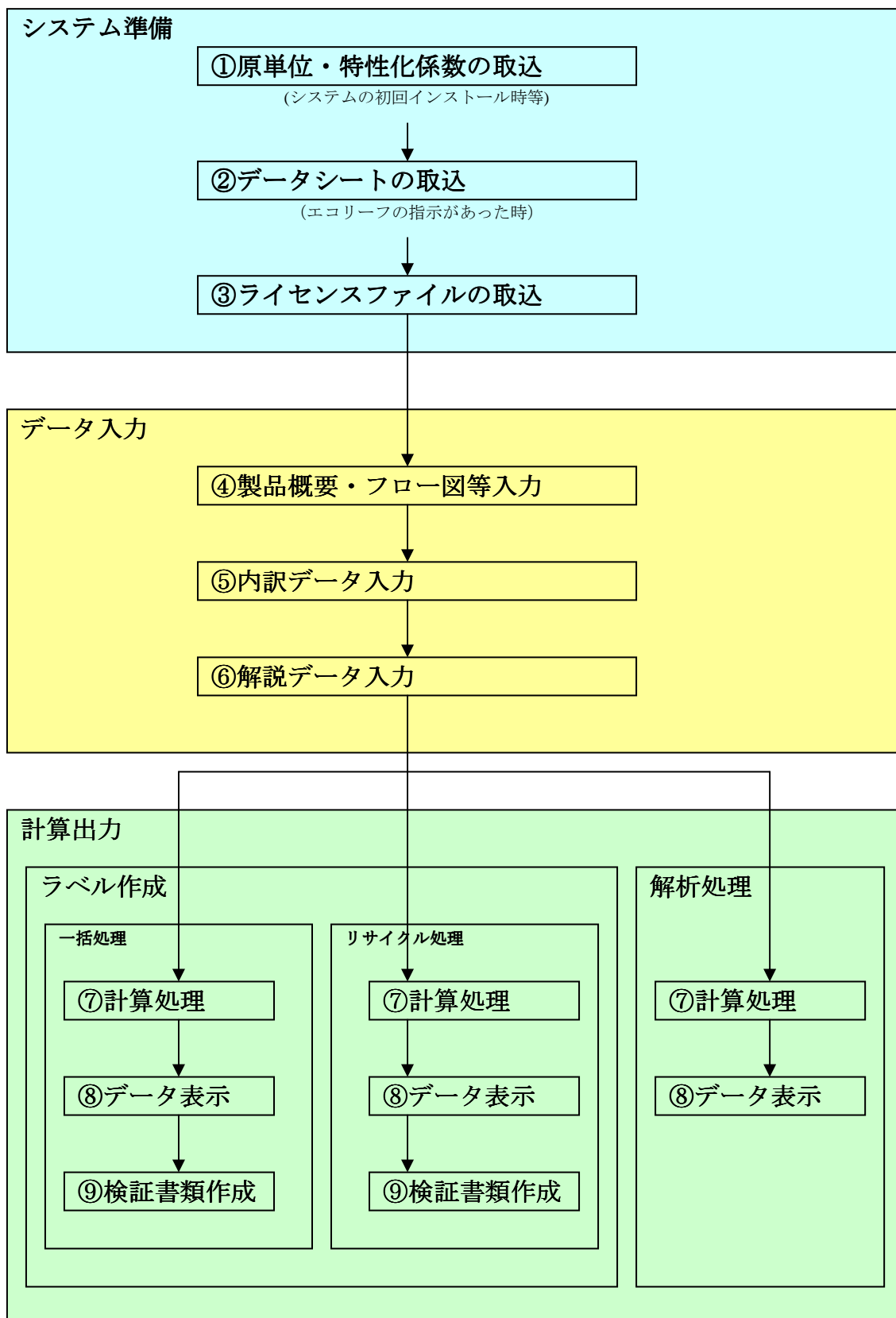
1.3.対象

本ソフトは基本ソフトと応用ソフトから構成され、以下の機能を有する。

- ①製品仕様データ、製造サイト情報データおよび各ステージの設定条件データをアロケーション等のLCA技法に基づいて処理し、LCA計算に必要なデータ加工・変換。
- ②入力項目に適した原単位を選択し、インベントリ計算。
- ③インベントリ項目に適した特性化係数を選択しインパクト評価計算を行い、公開するPEIDSのフォーマットで以上の結果を出力。

1.4.流れ

本システムの流れは、下記のようになっております。



2. 動作環境

以下の環境で動作確認済みです。

2.1.オペレーティングシステム

Microsoft Windows 7(32bit版) Microsoft Windows Vista(32bit版)

Microsoft Windows XP(32bit版) SP1 以降

※64bit Windowsでの運用はサポートしていません。

2.2.アプリケーションプログラム

Microsoft .NET Framework 1.1

Excel 2003, Excel 2007, Excel 2010


2.3.Excelの設定

Excelのマクロ機能を使用しますので、

Excelのセキュリティレベルを 低 に設定してご使用頂く事を推奨致します。

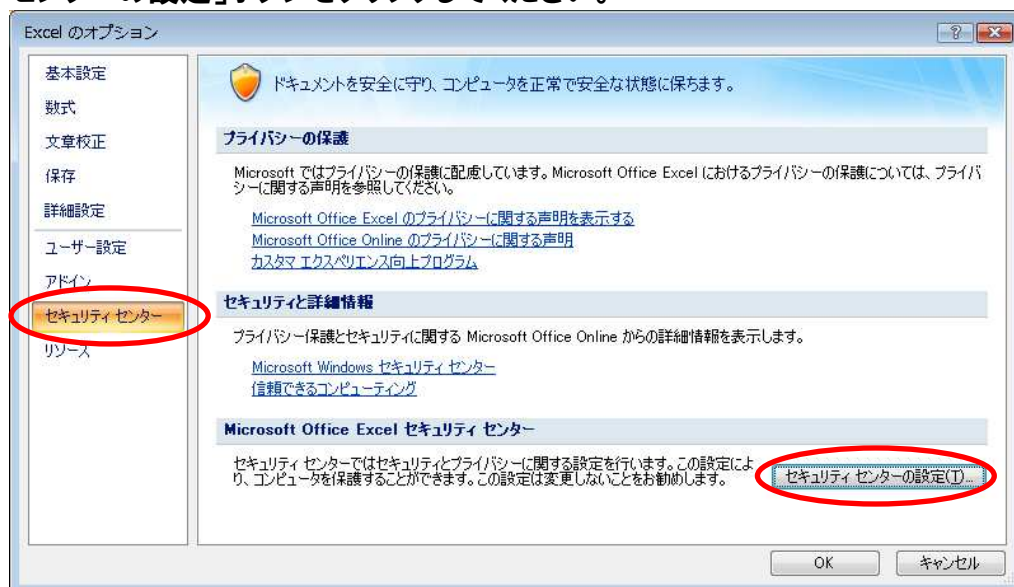
Microsoft, Windows, Excel, Word は米国Microsoft社の米国、及び他の国の登録商標です。

2.3.1 Excel 2007 のセキュリティレベルの変更方法

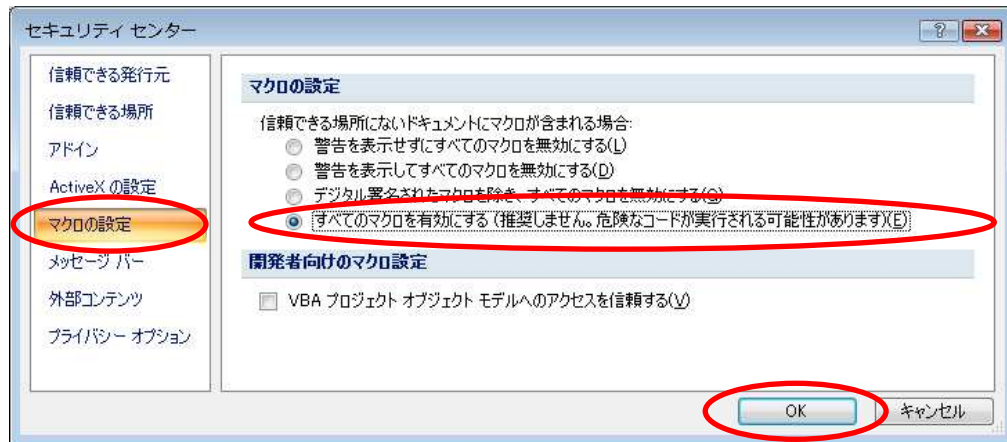
1. Excel の左上にある  ボタンをクリックすることでメニューが表示されますので、メニュー上の「Excel のオプション」ボタンをクリックしてください。



2. 画面左の選択欄の中から「セキュリティセンター」を選択していただき、「セキュリティセンターの設定」ボタンをクリックしてください。



3. 画面左の選択欄の中から「マクロの設定」を選択していただき、「信頼できる場所」にないドキュメントにマクロが含まれる場合」の項目の中から【すべてのマクロを有効にする。】を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

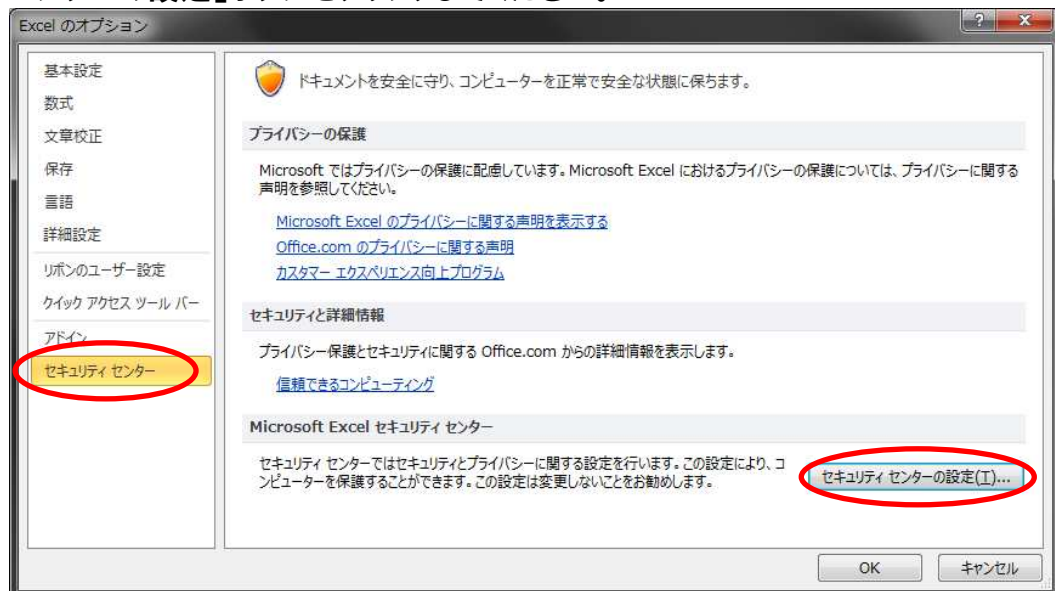


2.3.2 Excel 2010 のセキュリティレベルの変更方法

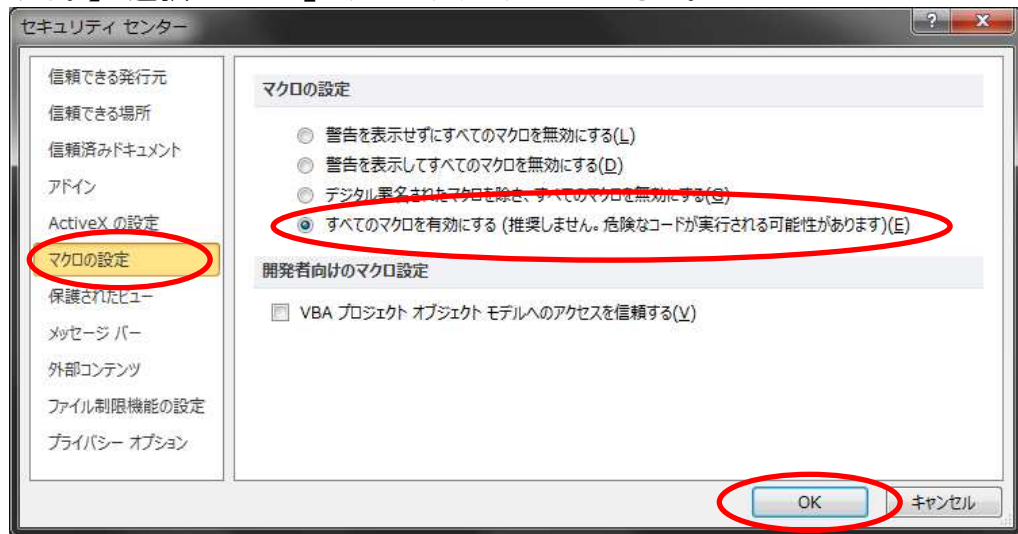
1. Excel の左上にある **ファイル** ボタンをクリックすることでメニューが表示されますので、メニュー上の「オプション」ボタンをクリックしてください。



2. 画面左の選択欄の中から「セキュリティセンター」を選択していただき、「セキュリティセンターの設定」ボタンをクリックしてください。



3. 画面左の選択欄の中から「マクロの設定」を選択していただき、「信頼できる場所」がないドキュメントにマクロが含まれる場合」の項目の中から【すべてのマクロを有効にする。】を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。



3. 基本操作とシステム準備

3.1.1 メインメニュー画面

【メインメニュー画面】



メインメニュー画面は以下の構成になります。

- 製品概要(製品の新規登録・修正、表示する製品の選択)
- フロー図等入力(様式4～5の入力・修正・保存)
- 内訳データ(データの入力・修正・保存・削除)
- 解説入力(サイトごとの解説入力・修正・保存・削除)
- ラベル作成(様式ごとの表示および、JEMAI提出用ファイルの作成)
- 製品解析(製品構成ごとの解析)
- データ保守(データのバックアップ 他)
- JEMAI提供データ取込サブメニュー(原単位の取込 他)
- ライセンス更新(ライセンスファイルの取込)

3.1.2 システム起動

(1) 画面左下部のスタートボタンをクリックします。



(2) スタートメニュー噴出しメニュー内のすべてのプログラムを選択します。

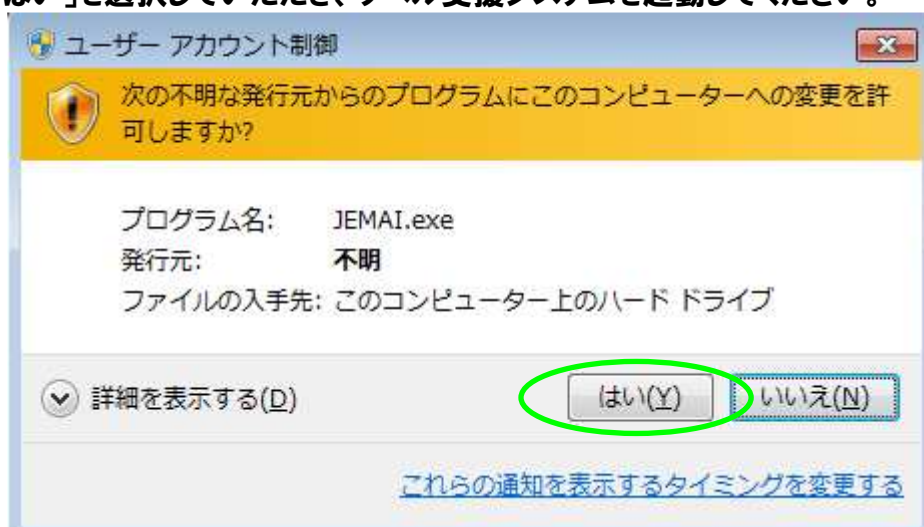


(3) すべてのプログラム噴出しメニュー内の環境ラベル支援システムを選択します。



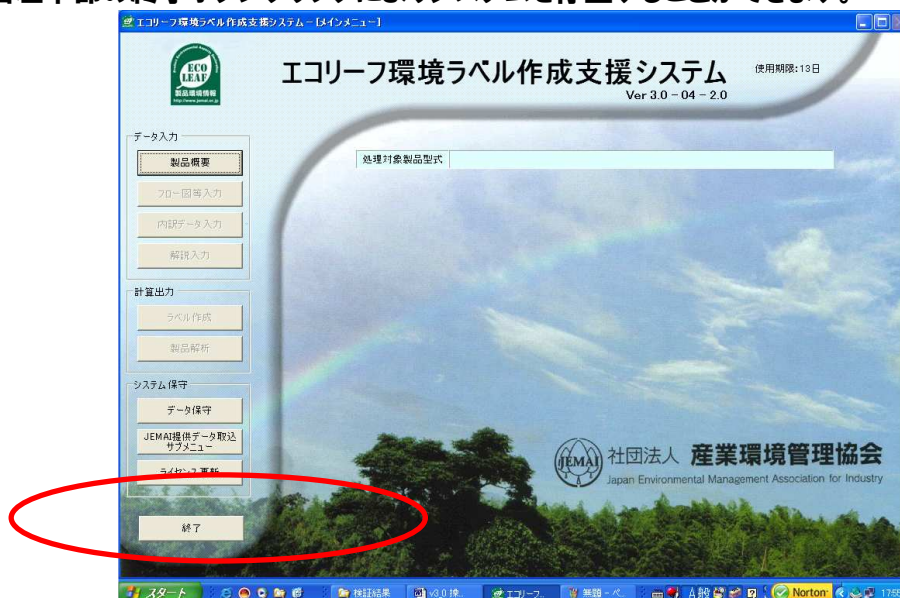
※Windows 7 および Windows Vista に関して

「はい」を選択していただき、ラベル支援システムを起動してください。



3.1.3 システム停止

(1) 画面左下部の終了ボタンクリックによりシステムを停止することができます。



3.2.JEMAI 提供データ取込(機能概要)

【JEMAI提供データ取込】

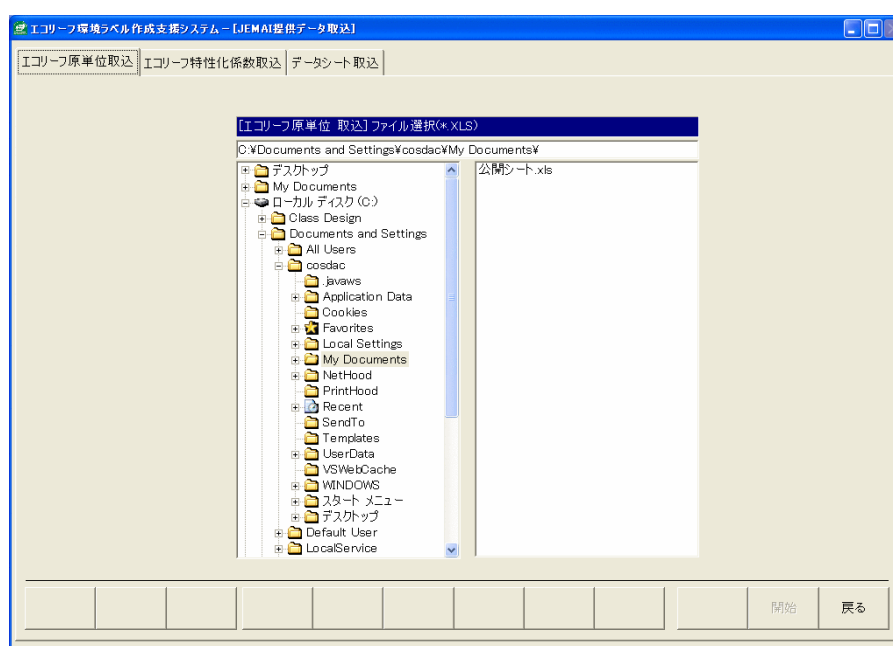
選択されたEXCEL(エコリーフ原単位、エコリーフ特性化係数、データシート)の取込み及びデータ反映の一連の作業を行います。

【操作手順】

JEMAI提供データ取込サブメニューボタンをクリックし、JEMAI提供データ取込画面を表示します。

【JEMAI提供データ取込画面】

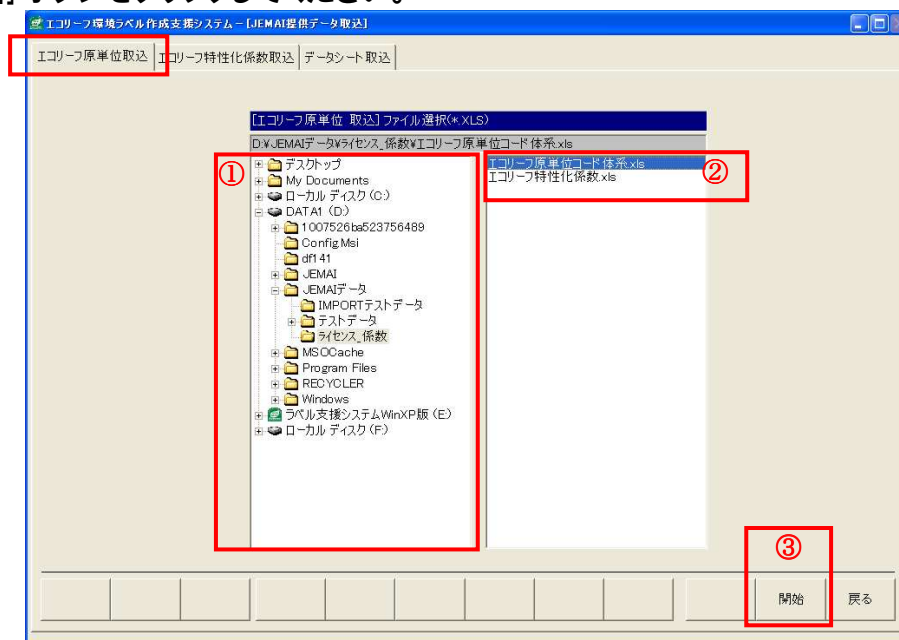
JEMAI提供データ取込処理は以下の構成になります。



3.2.1 エコリーフ原単位

【操作手順】

- 目 [エコリーフ原単位 取込] タブをクリックし「ファイル選択」サブ画面を表示します。
- ① 画面左側のフォルダツリー上から、任意の場所にコピーした原単位ファイルが存在するフォルダを選択してください。
 - ② 画面右側の一覧の中から、コピーした特性化係数ファイルを選択してください。
 - ③ [開始] ボタンをクリックしてください。



⚠ 対象のEXCELファイルが開かれている場合、処理が出来ませんので全てのEXCELファイルを終了する事を推奨します。

- ④ [はい(Y)] をクリックし、処理を実行してください。
(ファイルの内容によって数分近く処理に時間が必要な場合があります。)



⚠ 処理するファイルが「取込み対象外」「データ不適合」の場合、エラーメッセージが表示されます。原因を解決後に再度処理を実行してください。

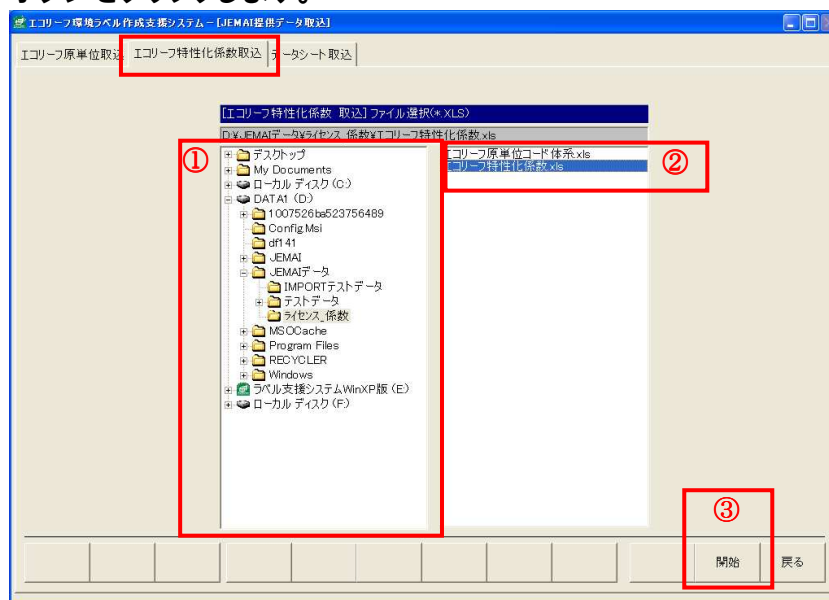
- 目 正常に終了するとメッセージが表示されます。

3.2.2 エコリーフ特性化係数

【操作手順】

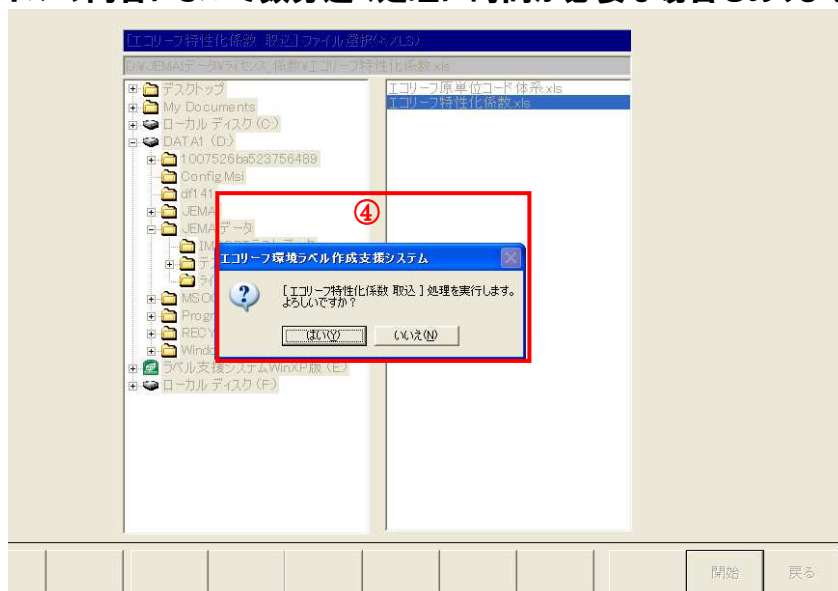
目 [エコリーフ特性化係数取込] タブをクリックし「ファイル選択」サブ画面を表示します。

- ① 画面左側のフォルダツリー上から、任意の場所にコピーした特性化係数ファイルが存在するフォルダを選択してください。
- ② 画面右側の一覧の中から、コピーした特性化係数ファイルを選択してください。
- ③ [開始] ボタンをクリックします。



⚠ 対象のEXCELファイルが開かれている場合、処理が出来ませんので全てのEXCELファイルを終了する事を推奨します。

- ④ [はい(Y)] をクリックし、処理を実行してください。
(ファイルの内容によって数分近く処理に時間が必要な場合があります。)



⚠ 処理するファイルが「取込み対象外」「データ不適合」の場合、エラーメッセージが表示されます。原因を解決後に再度処理を実行してください。

目 正常に終了するとメッセージが表示されます。

3.2.3 データシート取込

エコリーフから指示があった際のみ使用。それ以外は使用しないで下さい。

【JEMAI提供データ取込処理】

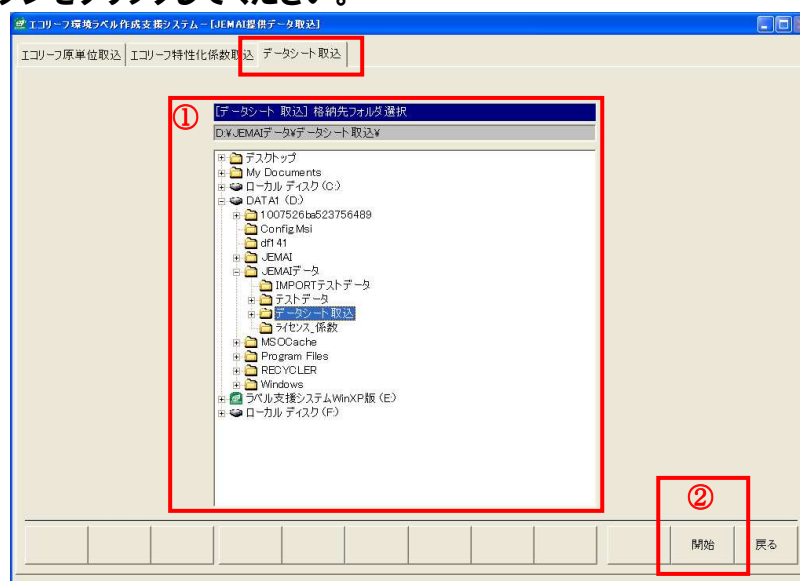
PEIDSシート、製品シート等が変更になった際、エコリーフが配布するEXCELファイル一式を取込、既存データの上書き作業を行います。

【操作手順】

JEMAI提供データ取込サブメニューボタンをクリックし、JEMAI提供データ取込画面を表示します。

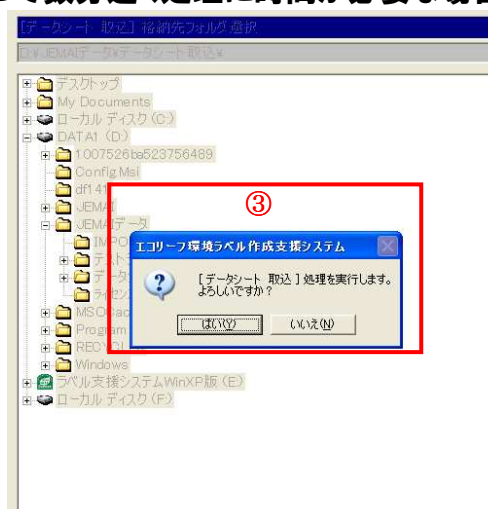
④ [データシート取込] タブをクリックし「ファイル選択」サブ画面を表示します。

- ① 画面中央のフォルダツリー上から、任意の場所にコピーしたデータシート取込フォルダを選択してください。
- ② [開始] ボタンをクリックしてください。



⚠ なお、対象のEXCELファイルが開かれている場合、処理することが出来ませんので、全てのEXCELファイルを終了する事を推奨します。

- ③ ダイアログが表示されるので、[はい(Y)] をクリックし、処理を実行してください。
(ファイルの内容によって数分近く処理に時間が必要な場合もあります。)



⚠ 処理するファイルが「取り込み対象外」の場合、エラーメッセージが表示されます。原因を解決後に再度処理を実行してください。

☐正常に終了するとメッセージが表示されます。

3.3.ライセンス更新

【ライセンス更新】

システムの試用期限更新を行います。

【前準備】

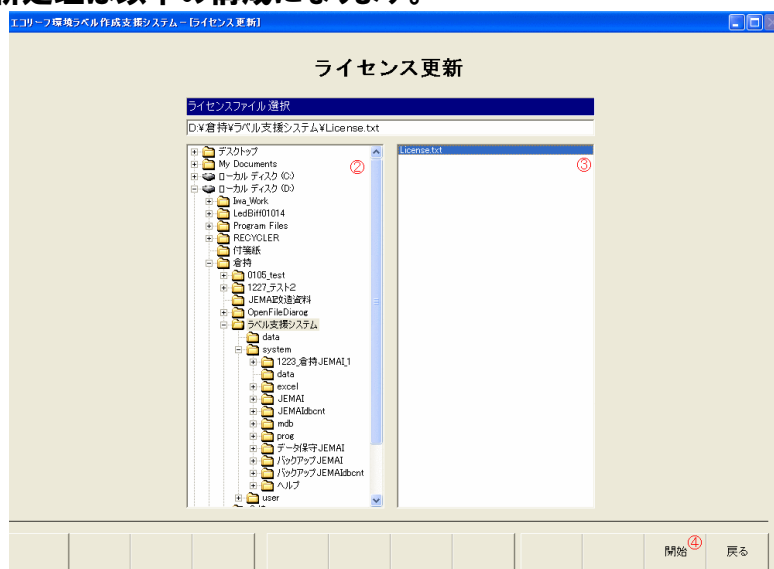
エコリーフより「ライセンスファイル」を入手し、任意のフォルダに保存下さい。

【操作手順】

ライセンス更新サブメニューボタンをクリックし、ライセンス更新画面を表示します。

【ライセンス更新画面】

ライセンス更新処理は以下の構成になります。



【操作手順】

1. ライセンス更新ファイルのディレクトリを②で選択する。
2. ライセンス更新ファイル③を選択する。
3. ④の「更新」ボタンをクリックする。

（更新処理を行い、有効期限まで使用することが出来ます。）

【使用期限の表示】

メインメニュー画面の右上に、使用期限が表示されます。使用期限が60日以下になるとシステム起動時に別ウィンドウで使用期限をお知らせいたします。



4. データ入力処理

4.1.製品概要画面

【製品概要】

製品を新規登録・登録内容の修正を行います。

【操作手順】

メインメニュー画面の製品概要ボタンをクリックし、製品概要を表示します。

【製品概要入力画面】

製品概要画面は以下の構成になります。

注)英語版ラベルを出力しない場合は⑪～⑭の入力は不要です。

【項目説明】

- ①…登録後の製品形式を選択できます。(新規登録の際は入力不要)
- ②…エコリーフ作成事業者名を入力します。
- ③…製品分類名を入力します。例)固定電話(適用PCR番号:AY-03)
- ④…製品形式を入力します。(ここに入力したデータが①へ表示されます)
- ⑤…登録番号を入力します。(登録申請後に登録番号は発行されます)
- ※検証番号を付与されている場合は、検証番号を入力します)
- ⑥…製品単位を入力します。例)1台
- ⑦…該当PCR-Noを入力します。例)AA-03
- ⑧…製品(kg)を入力します。例)10
- ⑨…包装他(kg)を入力します。例)5
- ⑩…全体(kg)を入力します。例)15
- ⑪…エコリーフ作成事業者名(英語表記)を入力します。

- ⑫・・・製品分類名(英語表記)を入力します。例)Telephone(PCR:AY-03)
- ⑬・・・製品形式(英語表記)を入力します。
- ⑭・・・製品単位(英語版)を入力します。例)1 unit
- ⑮・・・(原単位取り込みを行なうと)原単位のバージョンが表示されます。
- ⑯・・・(特性化係数の取り込みを行なうと)特性化係数のバージョンが表示されます。
- ⑰・・・PEADシートのグラフを自動生成する場合チェックを入れます。

●新規登録

「新規」をクリックし、該当項目を入力。「登録」をクリックすると、製品が登録されます。

●登録内容の修正

該当項目を修正。「登録」をクリックすると、「更新確認画面」が表示されます。

上記処理を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックすると処理を中止します。

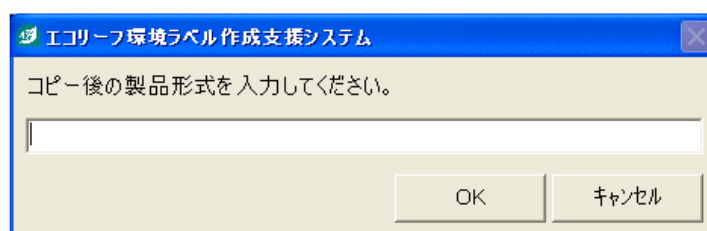
●既存の製品概要データをコピーして別名で登録するには

メインメニュー画面の製品概要ボタンをクリックし、製品概要画面を表示します。

コピー元となる、製品概要データの製品形式を選択します。



左下「製品形式複写」をクリックすると、コピー後の製品形式を入力する画面を表示します。



注)既に登録済みの製品形式を入力するとエラーになります。

製品形式を入力後、「OK」をクリックします。

上記処理を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックすると処理を中止します。

4.2.フロー図等入力

【 フロー図等入力 】

様式4製品の部品構成図、様式5－1製品フロー、様式5－2ステージフローを入力します。

【 対象データ 】

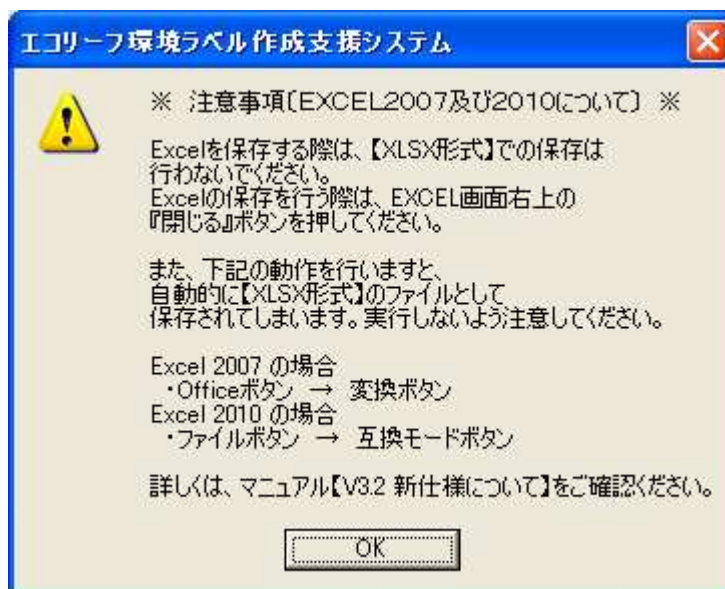
製品概要画面において選択された製品形式が処理対象になります。

【 操作手順 】

メインメニュー画面のフロー図等入力ボタンをクリックして、フロー図等入力画面を表示します。

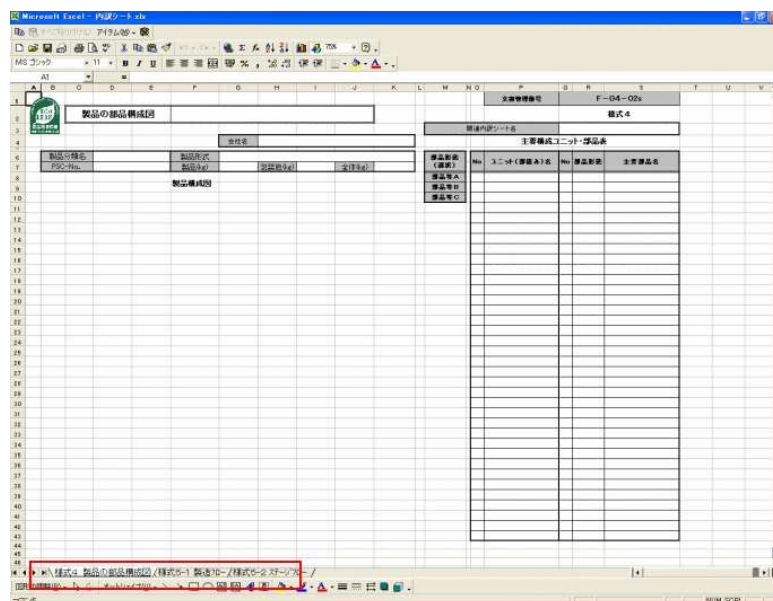


※ 使用しているExcelのバージョンが、**2007**及び**2010**の場合は、以下のメッセージが出力されます。

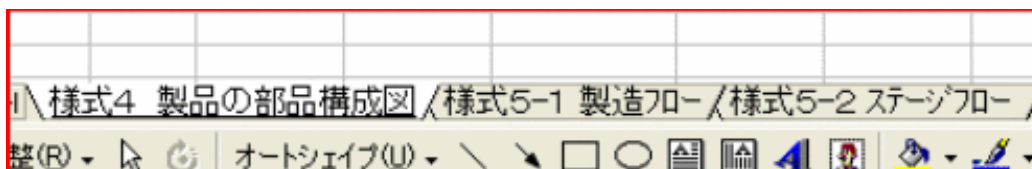


このメッセージは、Excel のバージョンが、**2007** 及び **2010** の場合に、[XLSX] 形式のファイルで保存しないように注意していただくためのメッセージとなります。
OKボタンを押していただくことで、フロー図等の編集が行えるようになります。


フロー図等編集ボタンをクリックして、内訳シート.xlsを表示します。



タブを選択して、使用したいエクセルシートを選択します。



製品部品構成図、製造フロー、ステージフローの入力編集を行います。

終了時に  ボタンをクリックします、この時情報保存の確認ダイアログが表示されダイアログに応答すると、情報の保存、または、保存しないでExcelの終了が行われます。


・共通の注意点

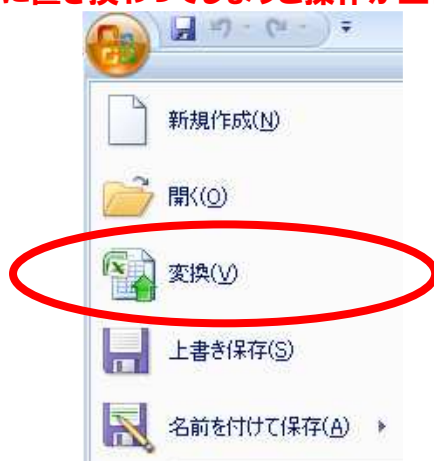
- 注1) フロー図等入力画面に表示されているExcelファイルの編集は、本プログラムを使用しないで通常のExcelで行えます。
 ただし、ファイル名・シート名の変更は行わないでください。
- 注2) シート間でのリンクは、使用しないで下さい。
 (計算処理が出来ません。)

・Excel2003 以前 での注意点

- 注1) この動作で、表示されるExcelのファイル名称を操作するツールボタン、ショートカットキーは、使用できないように操作を制限しています。

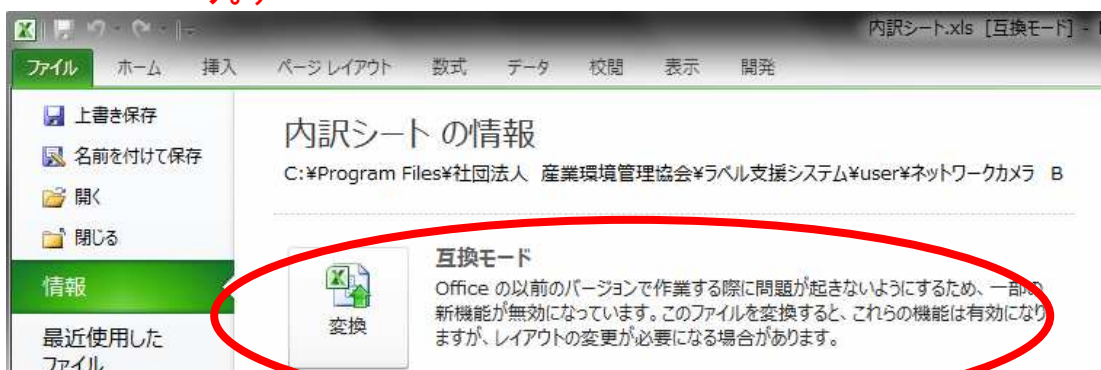
・Excel 2007 での注意点

- 注1) Excel 2007 左上の  (Office) ボタンをクリックして、メニューの中にある【変換(V)】ボタンをクリックしないでください。(XLSX形式のファイルに置き換わってしまうと操作が正常に行われなくなります。)



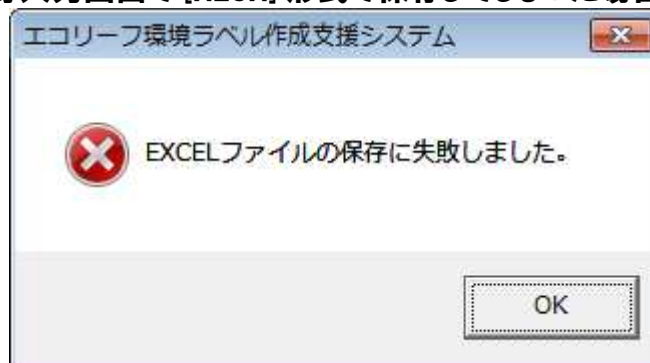
・Excel 2010 での注意点

- 注1) Excel 2010 左上の **ファイル** (ファイル) ボタンをクリックして、メニューの中にある【互換モード】ボタンをクリックしないでください。(XLSX形式のファイルに置き換わってしまうと操作が正常に行われなくなります。)

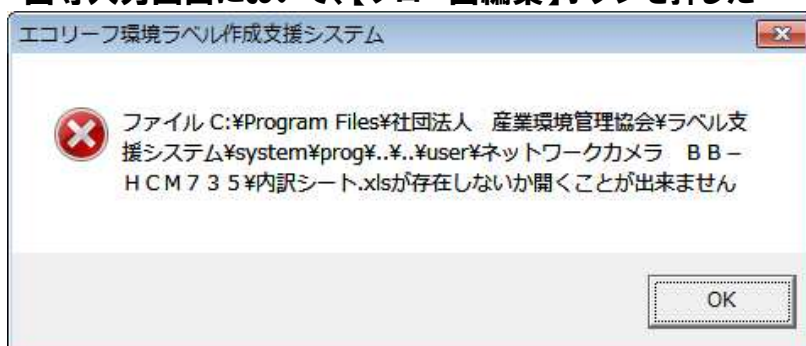


※ もし、[XLSX] 形式で保存してしまった場合の現象内容
[XLSX] 形式で保存してしまった場合、以下の3つの現象が発生いたします。

1. フロー図等入力画面で [XLSX] 形式で保存してしまった場合



2. フロー図等入力画面において、【フロー図編集】ボタンを押した



4.3.内訳データ入力メニュー

【 内訳データ入力 】

データの入力を行ないます。

【 対象データ 】

製品概要更新画面で選択された製品形式が処理対象になります。

【 操作手順 】

メインメニュー画面の内訳データ入力ボタンをクリックして、内訳データ入力画面を表示します。

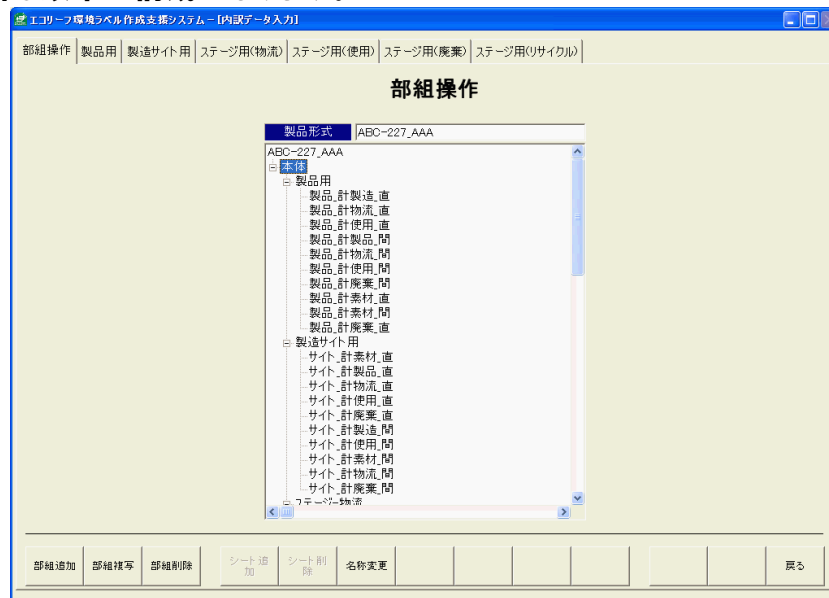
内訳データ入力をクリックし、内訳データ入力画面を表示します。

4.3.1 部組・シートおよび共通操作

(1)部組追加(新規作成)・複写・削除・名称変更

【部組】※部組(複数の部品から構成)ごとに入力すると、製品解析(環境負荷計算)時に便利です。

部組操作画面は以下の構成になります。



【 部組の追加(新規作成) 】

画面左下の「部組追加」ボタンをクリックし、部組名称を入力し、「OK」をクリックします。

【 部組複写(既存の部組を複製) 】

画面中央のTree表示において、部組を選択し、「部組複写」ボタンをクリックすると、複写後の部組名称を入力する画面が表示されます。部組名称を入力し、「OK」をクリックします。

注)既に登録済みの部組名称を入力するとエラーになります。

【 部組の削除(既存の部組を削除) 】

画面中央のTree表示において、部組を選択し、「部組削除」ボタンをクリックすると、確認画面が表示されます。削除する場合は、「OK」をクリックします。

注)部組の削除を行った場合は、部組の復元は出来ません。

【 名称変更 】

画面中央のTree表示において、部組を選択し、「名称変更」ボタンをクリックすると、変更後の部組名称を入力する画面が表示されます。部組名称を入力し、「OK」をクリックします。

上記処理を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックすると処理を中止します。

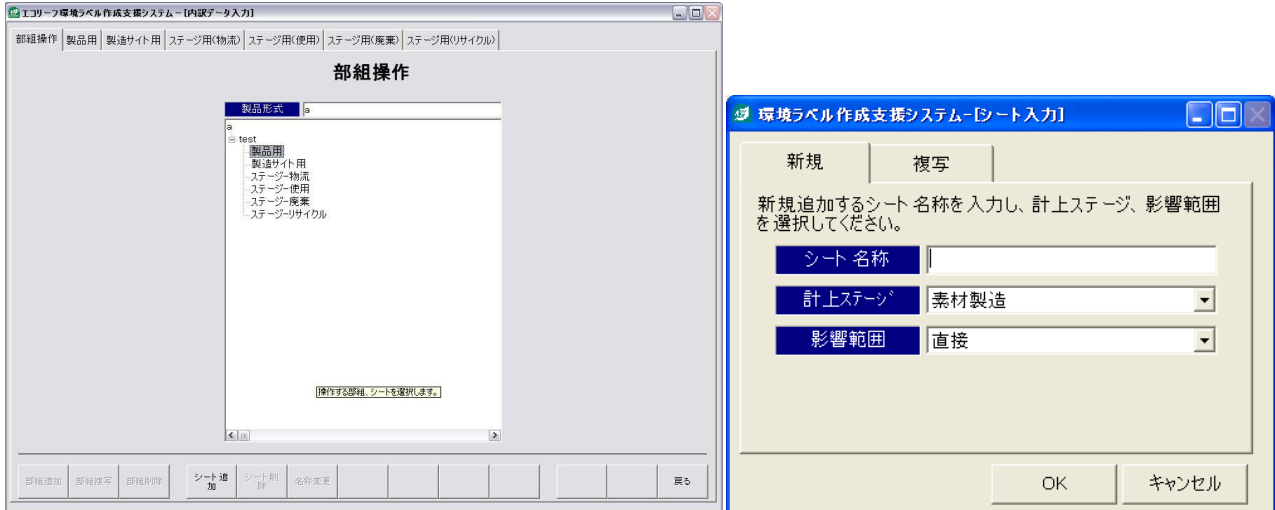
(2)シート追加・複写・削除

【 シート 】

計上ステージと直接影響(もしくは間接影響)ごとにシートに名前付け、データを入力します。

【 操作手順 】

部組操作画面中央のTree表示において、カテゴリ名称(例「製品用」)を選択します。



シート追加ボタンをクリックすると、コピー後のシート名称を入力する画面を表示します。

【 シート追加(新規作成) 】

シート名称、計上ステージ、影響範囲を指定後、「OK」をクリックします。

【 シート複写 】

コピーしたい部組のシートを選択します。

シート名称、計上ステージ、影響範囲を指定後、「OK」をクリックします。

注)既に登録済みのシート名称を入力するとエラーになります。

【 シート削除 】

画面中央のTree表示において、シート名称を選択します。シート削除ボタンをクリックすると、削除を確認する画面を表示します。「OK」をクリックするとシートを削除します。

【 シート名称変更 】

画面中央のTree表示において、シートを選択し、「名称変更」ボタンをクリックすると、変更後のシート名称を入力する画面が表示されます。シート名称を入力し、「OK」をクリックします。

上記処理を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックすると処理を中止します。

尚、シートの追加・複写・削除・名称変更は、各カテゴリの入力画面でも行なえます。
詳細は次項。

(3)カテゴリの共通項目操作

「製品用」、「製品サイト用」、「ステージ用(物流)」、「ステージ用(使用)」、「ステージ用(廃棄)」、「(ステージ用)リサイクル」の共通事項を説明します。

「シート追加」(各カテゴリ画面でもシート追加は可能です)

計上ステージと直接影響(もしくは間接影響)ごとにシートに名前付け、データを入力します。

- ④ [シート追加] ボタンをクリックし「シート入力」画面を表示します。
- ④ 表示された「シート入力」画面の「シート名称」「計上ステージ」を入力し [OK] ボタンをクリックします。すでに登録されているシートをコピーして利用する場合には、[複写] を選択し「コピー元部組」「コピー元シート」を選択後、「シート名称」「計上ステージ」を入力して [OK] ボタンをクリックします。
- ④ [新規] を選択した場合は画面左側。[複写] を選択した場合は画面右側。

注)既に登録済みのシート名称を入力するとエラーになります。

注)計上ステージ一覧は本マニュアル最後に掲載されています。

「見出し部」

- ④ シートごとの製品概要を入力します。この情報は必須になりますので、全ての情報を埋めて下さい。未入力部分は赤く表示されます。

部組	テスト部組	シート名称	テストシート	計上ステージ	素材製造	影響種別	直接
製品分類名	熱転写方式カードプリンタ	実施者名		記入完了日		報告場所名	
製品形式	PR5350	調査年度		開始月		終了月	

「シート削除」

- ④ 「シート削除」ボタンをクリックすると、削除を確認する画面を表示します。「OK」をクリックするとシートを削除します。

「全行選択」

- ④ 「全行選択」ボタンをクリックすると、データ入力範囲が選択されます。

「行挿入」

- ④ 行を選択し「行挿入」ボタンをクリックすると、選択した行の上に行が挿入されます。

「行削除」

- ④ 行を選択し「行削除」ボタンをクリックすると、選択した行が削除されます。
- ④ 「全行選択」をし「行削除」ボタンをクリックすると、全ての行が削除されます。

「解説入力」

- ④ 「解説入力」ボタンをクリックすると、解説入力画面を表示します。「OK」をクリックすると入力されます。※メインメニュー画面の「解説入力」でも解説は入力出来ます。

「CSV取込」

- ④ 「CSV取込」ボタンをクリックすると、CSVを取込み出来ます。
- ④ 詳細は別途「補足.CSV取込について」をご参照下さい。

「更新」

- ④ 必要な情報を入力した上で[更新] ボタンをクリックする事により、情報の更新が終了します。こまめに更新をすることを推奨します。

上記処理を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックすると処理を中止します。

4.3.2 製品用入力画面

本画面で製品用データの入力を行います。

新規作成・修正追加処理

①シート追加

製品データを入力するシート名称を登録します。

②項目選択

使用する項目を選択します。

③製品概要入力

ステージ名称等の概要データを入力します。

④製品データ入力

構成部品別のデータを入力します。

⑤製品重量データ入力

材質別の重量をkg単位で入力します。

⑥入力データの更新

入力したデータをデータベースに登録します。

削除処理

①シート削除

シート名称のデータを削除します。

②項目削除

使用する項目を削除します。

③行削除

製品データの行を削除します。

④データの更新

製品データデータベースに登録します。

(1)シート追加

【操作手順】

カテゴリの共通項目操作説明(本マニュアル 4.3.1(3))をご参照下さい。

(2)製品概要入力

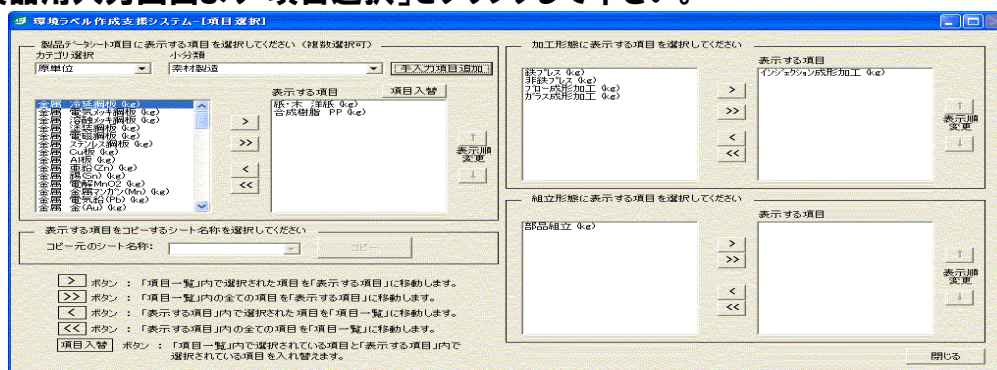
【操作手順】

カテゴリの共通項目操作説明(本マニュアル 4.3.1(3))をご参照下さい。

(3)項目選択について

【操作手順】

製品用入力画面より「項目選択」をクリックして下さい。



「製品データシートの項目追加」

1. カテゴリ選択で使用したいカテゴリを選択します。

「手入力」を選択した場合、項目入力画面がポップアップします(手入力の方法につきましては、**次項「項目の手入力について」**をご参照下さい。

2. 小分類を選択します。

3. 項目一覧リストでデータを選択して **>** をクリックすると項目追加します。

>> のクリックは、項目一覧リスト内全データが追加します。

「加工形態の項目追加」

1. 項目一覧リストでデータを選択して **>** をクリックすると項目追加します。

>> のクリックは、項目一覧リスト内全データが追加します。

「組立形態の項目追加」

1. 項目一覧リストでデータを選択して **>** をクリックすると項目追加します。

>> のクリックは、項目一覧リスト内全データが追加します。

「項目の入替」

1. **項目入替** をクリックすると、項目一覧リストで選択したデータと表示する項目リストで選択したデータを入れ替えます。

「手入力項目の項目追加」

1. **手入力項目追加** をクリックすると、項目入力画面を表示します。

「項目のコピーについて」

1. [コピー元のシート名称] から項目をコピーするシート名称を選択しコピーボタンをクリックします。

注)現在作業中のシートは選択できません。

注)現在作業中のシート以外にシートが存在しない場合は、リストからの選択はできません。

【項目の手入力について】

「新規作成」

- ①のテキストに登録したいインベントリ名称を入力します。
- ②のテキストに項目名称を入力します。
- ③の小分類1を選択します。
- ④の小分類2を選択します。
- ⑤の小分類3を選択します。
- OKボタンをクリックすると入力したインベントリ名称を登録して本画面を閉じます。
キャンセルボタンをクリックすると入力を無効とし、本画面を閉じます。

「変更」

- ⑥のリストから変更したいインベントリ名称を選択します。
- ⑦のテキストに表示された名称を変更します。
(⑧のテキストは英語名称です。英語版を変更時に使用します。)
- 更新ボタンをクリックすると変更したインベントリ名称を登録します。

「削除」

- ⑥のリストから削除したいインベントリ名称を選択します。
- ⑦のテキストに選択した名称が表示します。
(英語名称が登録されている場合は⑧のテキストにも名称が表示します。)
- 削除ボタンをクリックすると選択したインベントリ名称を削除します。
(製品用入力画面で選択したインベントリ名称が使用されている場合は削除出来ません。)

(4)製品データ入力および製品重量データ入力

「製品構成」

- ④ 構成部品データ及び、材質分類ごとの製品重量データを入力します。「構成部品」の欄に必要な情報を入力し、該当する行の「材質分類別重量(kg)」の欄に値を入力します。この操作を必要に応じて繰り返し情報を埋めていきます。

No	項目						材質分類別質量(kg)						
	製品データシート項目						普通鋼	SUS	その他金属	アルミニウム	可塑性樹脂	可塑性樹脂	可塑性樹脂
	構成部品						FU	SUS	ETC	AL	NE	NE	NE
	ユニット名称	部品名称	部品形態	材質	質量	代表加工形態	冷延鋼板	ステンレス鋼板	Cu板(kg)	Al板(kg)	PE(低密度)	PS(kg)	PBT(ポリブタ)
1	筐体部	筐体ユニット	部品等B	複合	2.61152	鉄プレス(kg)	2.61152						
2			部品等B	POM	0.00783	インジェクション							

「部品形態」

- ④ 入力したデータの部品形態を選択します。

部品等A)

サイト搬入までの(当該製品の製造に供するための)加工および組立工程の環境負荷を、共通原単位を用いて推定する必要のない原材料・部品類。

部品等B)

サイト搬入までの加工工程の環境負荷は共通原単位を用いて推定する必要があるが、組立工程については必要のない原材料・部品類。

部品等C)

サイト搬入までの加工及び組立工程の環境負荷を、本プログラムが提供する共通原単位を用いて推定する必要がある原材料・部品類。

「代表加工形態」

- ④ 入力したデータの代表加工形態を選択します。
④ 「項目選択」で「表示する項目」にした形態が表示されます。

「組立形態」

- ④ 入力したデータの部品形態を選択します。
④ 「項目選択」で「表示する項目」にした形態が表示されます。

4.3.3 製造サイト用入力画面

本画面で製品サイト用のデータ入力を行います。

新規作成

①シート追加

サイトデータを入力するシート名称を登録します。



②製品概要入力

ステージ名称等の概要データを入力します。



③配分項目選択

使用する配分項目を選択します。



④同一サイトで生産される製品データ入力

1. 同一サイトで生産される製品のデータを入力します。



⑤サイト消耗品データ入力

2. サイト消耗品のデータを入力します。



⑥サイト排出物データ入力

3. サイト排出物のデータを入力します。



⑦入力データの更新

入力したデータをデータベースに登録します。

削除処理

①シート削除

シート名称のデータを削除します。

②行削除

サイトデータの行を削除します。

③データの更新

製品データデータベースに登録します。

(1)シート追加

【操作手順】

カテゴリの共通項目操作説明をご参照下さい。

(2)製品概要入力

【操作手順】

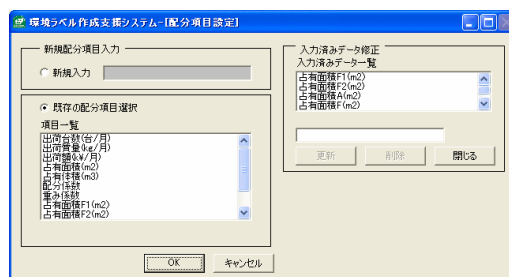
カテゴリの共通項目操作説明をご参照下さい。

(3)同一サイトで生産される製品 他

【操作手順】

「同一サイトで生産される製品」

- ④「配分項目(選択)」の右の空項目を選択し「配分項目設定」画面を表示させます。行単位の情報を追加する為、「配分項目設定」画面より配分項目を選択し[OK] ボタンをクリックします。次に列単位の情報及び値の登録を行ないます。「製品名」の横の欄に「製品名」を入力し、該当する行の場所に値を入力します。この操作を必要に応じて繰り返し情報を埋めていきます。



1. 同一サイトで生産される製品

製品名NO		1									合計
配分項目 (選択)	製品名	テスト製品									
	1 出荷額(kg/月)	1,000									1,000
配分根拠											

「サイト消耗品」

- ④「分類」・「名称(単位)」・「配分選択(同一サイトで生産される製品で選択した項目)」をリストより選択します。作成された行に「量」・「期間(月)」を入力してください。自動的に「/月」・「/台」が計算され表示します。この操作を必要に応じて繰り返し情報を埋めていきます。

2. サイト消耗品

NO	分類	名称(単位)	量	期間(月)	/月	/台	配分選択	補足説明	備考
1	エネルギー	電力(kwh)	200	1	2.000E+02	0.000E+00			

「サイト排出物」

- ④「分類」・「名称(単位)」・「配分選択(同一サイトで生産される製品で選択した項目)」をリストより選択します。作成された行に「量」・「期間(月)」を入力してください。自動的に「/月」・「/台」が計算され表示します。この操作を必要に応じて繰り返し情報を埋めていきます。

3. サイト排出物

NO	分類	名称(単位)	量	期間(月)	/月	/台	配分選択	補足説明	備考
1	水圏	全N	200	1	2.000E+02	0.000E+00			

(4)配分項目の追加・変更・削除について

「配分項目の追加」

- ④ [新規入力] のオプションボタンを選択した上でテキストボックスに新しい「配分項目」を入力し、[OK] ボタンをクリックする事により情報が追加します。

「配分項目の変更」

- ④ [入力済みデータ一覧] から変更したい項目を選択した上でテキストボックスに変更後の「配分項目」を入力し、[更新] ボタンをクリックする事により情報が置き換えられます。

「配分項目の削除」

- ④ [入力済みデータ一覧] から削除したい項目を選択し、[削除] ボタンをクリックする事により情報を削除します。

(5)「サイト消耗品」および「サイト排出物」で「その他」を選んだ場合について
【 操作手順 】

2. サイト消耗品			
NO	分類	名称(単位)	量
1	エネルギー	灯油 (kg) ガソリン (kg) 石炭 (kg) コークス (kg) オイルコークス (kg) 都市ガス (m3) LPG (kg) LNG (kg) (その他)	

3. サイト排出物			
NO	分類	名称(単位)	量
1	土壌	不特定固形廃棄物 スラグ 汚泥類 低放射性廃棄物 (その他)	

環境ラベル作成支援システム- [名称(単位)選択]

名称(単位)選択

☒ 既存のインベントリ項目選択

カテゴリ選択 小分類

原単位

項目一覧

名称(単位)入力

☐ 新規入力

日本語版

英語版

PEIDSシートの出力項目

入力済みデータ修正

入力済みデータ一覧

更新 削除 開じる

OK キャンセル

「カテゴリの選択」

画面左下選択エリアの「既存のインベントリ項目選択」がチェック状態で選択可能になります。カテゴリには「原単位」、「特性化係数」「インベントリ項目」の3種類があり、いずれかを選択します。

☒ 既存のインベントリ項目選択

カテゴリ選択 小分類

原単位

項目一覧

「小分類の選択」

- ③カテゴリが選択されるとそれに付随する小分類が選択可能になります。
表示される小分類からいずれかを選択します。

③ 既存のインベントリ項目選択

カテゴリ選択 小分類

原単位 素材製造

項目一覧

PE(高密度) (kg)
ガラス (kg)
ニトリルブタジエンゴム(NBR) (kg)
エチレン (kg)
タンボール (kg)
冷延鋼板 (kg)
CFC-11 (kg)

「項目データの表示」

- ④小分類が選択されると「項目一覧」に付随する項目が表示されます。

④ 既存のインベントリ項目選択

カテゴリ選択 小分類

原単位 素材製造

項目一覧

PE(高密度) (kg)
ガラス (kg)
ニトリルブタジエンゴム(NBR) (kg)
エチレン (kg)
タンボール (kg)
冷延鋼板 (kg)
CFC-11 (kg)

「項目選択の確定」

- ⑤上記操作を繰り返し、項目一覧に目的の項目が表示されたら、その項目を選択して「OK」ボタンをクリックすると本画面が閉じられ、選択された項目が「製造サイト用入力」画面に表示されます。

⚠上記処理を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックすると処理を中止します。

(6)「サイト消耗品」および「サイト排出物」で該当の項目が無い場合

【 未登録項目の入力 】

④登録項目の選択を行っても目的の項目がなかった場合、項目入力を行ってください。

「入力エリアの切り替え」

④画面左上選択エリアの「新規入力」のチェックボックスをクリックします。

「項目名の入力」

- ④ **インベントリ項目名称「日本語版」「英語版」を入力します。**
- ④ **注)公開シートの英語版を出力しない場合、英語版入力は不要です。**

「PEIDSシートの出力項目選択」

④入力した項目名称をPEIDSシートのどの位置に表示するかを指定します。
指定方法は小分類1、小分類2、小分類3の順に選択して出力位置を決定します。

「入力の確定」

④「OK」をクリックすると、本画面が閉じられ、入力された項目が「製造サイト用入力」画面に表示されます。

【 確定済の名称入力項目の名称変更 】

④上記「未登録項目の入力」処理で入力確定した項目を変更します。又は削除する場合に行います。

「名称変更」

④画面右上の「入力済みデータ一覧」に項目名が表示します。その中から変更する項目を選択すると選択された項目が入力エリア左(日本語版)右(英語版)に表示されます。そこで、項目名称を変更します。

「変更の確定」

④「変更」ボタンをクリックすると、変更前項目名のデータがすべて変更された名称に変わります。

注)本処理は本システムに登録されているデータすべてを対象として実行します。

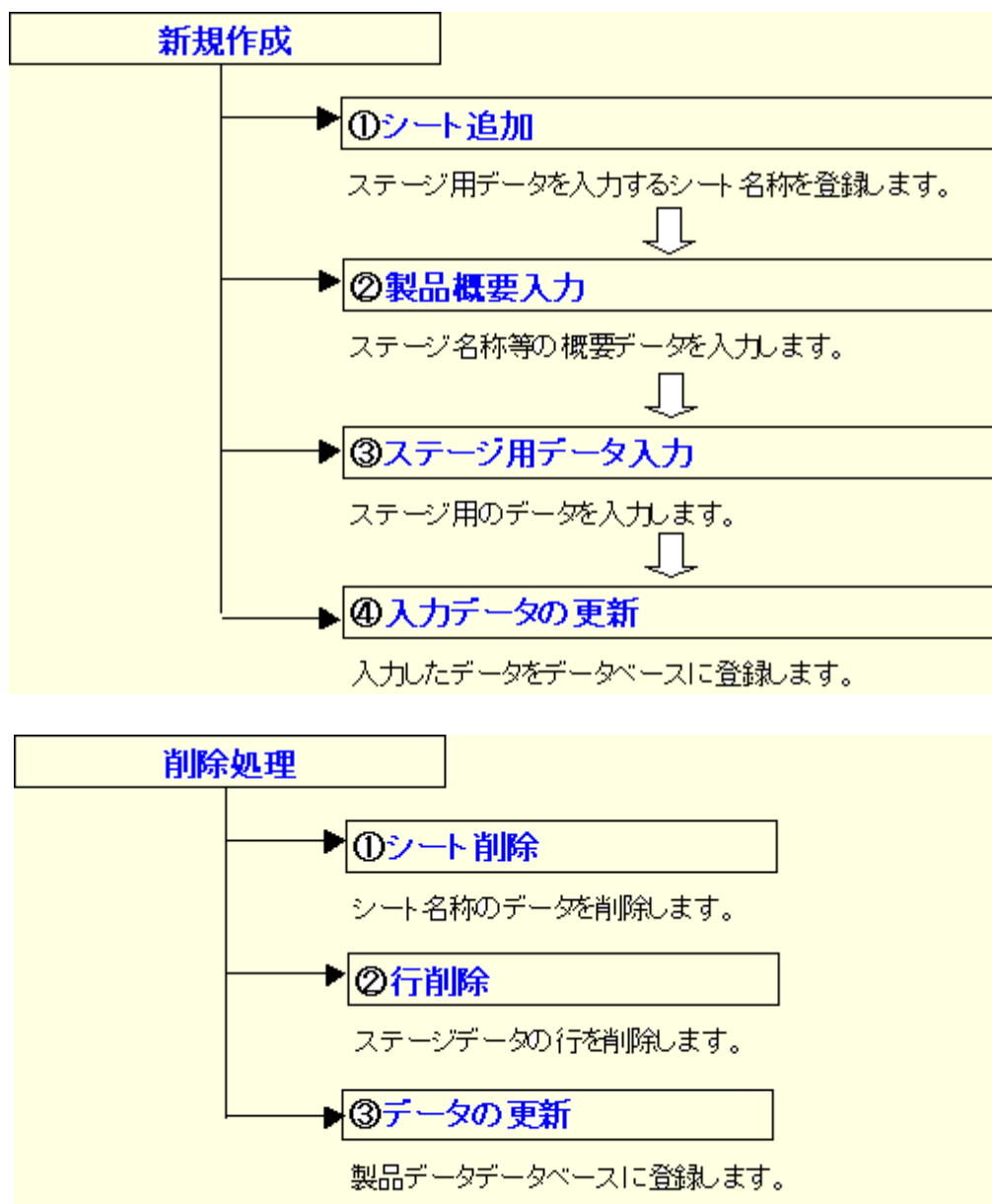
「削除の確定」

④「削除」ボタンをクリックすると、選択項目名のデータすべてが削除します。

注)本処理は本システムに登録されているデータすべてを対象として実行します。

⚠上記処理を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックすると処理を中止します。

4.3.4 ステージ用(【物流】/【使用】/【廃棄】/【リサイクル】)入力画面



(1)シート追加

【操作手順】

カテゴリの共通項目操作説明(本マニュアル 4.3.1(3))をご参照下さい。

(2)製品概要入力

【操作手順】

カテゴリの共通項目操作説明(本マニュアル 4.3.1(3))をご参照下さい。

(3)ステージ用データ入力

【 操作手順 】

「データ部」

③次に、「データ部」の登録を行います。まず「データ区分(選択)」のリスト項目をクリックし[データ区分]を選択してください。

ステージ名	No	データ区分 (選択)	項目			量	個別説明
			大項目	中項目	名称(単位)		
物流							
		消費 排出 処理 条件 控除					

④選択された区分に対する、「大項目」「中項目」「名称(単位)」「量」「個別説明」を入力します。この操作を必要に応じて繰返し情報を埋めていきます。

「データ区分(選択)」に「消費」「排出」「処理」「控除」の入力例

ステージ名	No	データ区分 (選択)	項目			量	個別説明
			大項目	中項目	名称(単位)		
物流	1	消費			冷延鋼板 (kg)	1.000E+02	

「データ区分(選択)」に「条件」の入力例

ステージ名	No	データ区分 (選択)	項目			量	個別説明
			大項目	中項目	名称(単位)		
物流	1	条件	輸送条件	輸送手段	2tトラック (kg・km)		
	2			輸送量	質量(kg)	2.000E+01	
	3				距離(km)	7.000E+01	
	4				積載率(%)	1.000E+02	
	5			輸送負荷量	負荷(kg・km)	1.400E+03	

⚠画面切替が「物流」の場合、「データ区分(選択)」に「条件」項目が追加されます。

「更新」

⑤必要な情報を入力した上で、上記ボタン群から[更新] ボタンをクリックする事により情報の更新が終了します。

(4)解説入力について

【 物流ステージ情報の解説入力 】

☑製品データシートの「3. 物流ステージ情報(製品1台当たりが原則)」の解説を入力します。
必要であれば、英語版の解説も入力します。入力後、OKボタンをクリックします。

【 使用ステージ情報の解説入力 】

☑製品データシートの「4. 1 製品本体、ラベル対象となる付属品等の使用関連情報」「4. 2 交換・消耗品の廃棄・リサイクル関連情報」の解説を入力します。必要であれば、英語版の解説も入力します。入力後、OKボタンをクリックします。

【 廃棄・リサイクルステージ情報の解説入力 】

☑製品データシートの「5. 廃棄・リサイクルステージ情報(製品1台当たり)」の解説を入力します。必要であれば、英語版の解説も入力します。入力後、OKボタンをクリックします。

4.3.5 解説入力

●対象データ

製品概要更新画面で選択された製品形式が処理対象になります。

●データの入力範囲

製品データシート、PEIDSシートの解説データを入力します。

●解説入力(日本語および英語)

【 操作手順 】

メインメニュー画面の解説入力ボタンをクリックすると、解説入力画面が表示されます。

【 操作説明 】

ここでの入力、①～⑥は入力する項目名をクリックすると、解説入力画面を表示します。⑦、⑧はマウスをクリックした場所が入力対象になります。

①の欄には製品データシートの「1. 製品情報(製品1台当たり)」の解説を入力します。

②の欄には製品データシートの「2. 製造サイト情報(製品1台当たり)」の解説を入力します。

③の欄には製品データシートの「3. 物流ステージ情報(製品1台当たりが原則)」の解説を入力します。

④の欄には製品データシートの「4. 1 製品本体、ラベル対象となる付属品等の使用関連情報」の解説を入力します。

⑤の欄には製品データシートの「4. 2 交換・消耗品の廃棄・リサイクル関連情報」の解説を入力します。

⑥の欄には製品データシートの「5. 廃棄・リサイクルステージ情報(製品1台当たり)」の解説を入力します。

⑦の欄には製品データシートの「その他」の解説を入力します。

⑧の欄にはPEIDSシートの「その他」の解説を入力します。

●入力の確定

「更新」をクリックすると、入力された解説データが更新します。

カテゴリごとの解説入力でも入力は出来ます。

公開シートの英語版を出力しない場合、英語版入力は不要です。

5. 計算出力処理

5.1. ラベル作成

【操作手順】

ラベル作成ボタンをクリックし、ラベル作成画面を表示します。

●対象データ

製品概要画面で選択された製品形式、または、ラベル作成画面のTree表示部分で選択された製品形式が処理対象になります。

選択されている製品名称確認後、計算ボタンをクリックしてください。

注） 入力途中のデータが存在する場合は、計算処理は実行できません。

●計算方法

リサイクル効果を含まない場合は一括処理、リサイクル効果を含む場合はリサイクル処理を選択の上、計算ボタンをクリックする。

注） 計算処理には時間が掛かります。

5.1.1 各種データ表示

●公開データ表示

各シート表示ボタンをクリックし、Excelで表示されます。

【PEADシート表示】

※PEADグラフ自動作成にチェックを入れている場合のみ、グラフが自動生成されます。グラフエリア等の編集内容は、エクセルのファイル・保存機能で保存され、保存した内容はJEMAI提出用ファイルに反映されます。グラフエリア等の編集をした後に再計算を行うと、編集したデータは失われますので、全ての計算処理が終わった後に、グラフエリア等の編集を行うことをお勧めします。この機能は操作が大変難しいため、データを作り込む前に、操作方法・保存方法・反映のされ方を十分ご理解頂いた上で、ご使用下さい。

【製品データシート表示】

【PEIDSシート表示】

【PEADシート（英語版）表示】

【製品データシート（英語版）表示】

【PEIDSシート（英語版）表示】

●内訳データ表示

各シート表示ボタンをクリックし、Excelで表示されます。

【製品用内訳シート表示】

【製造サイト用内訳シート表示】

【ステージ用内訳シート表示】

【LCI計算書シート表示】

【LCIA計算書表示】

【更新履歴管理表表示】

●ファイル作成保存

各シート表示ボタンをクリックし、Excelで表示されます。

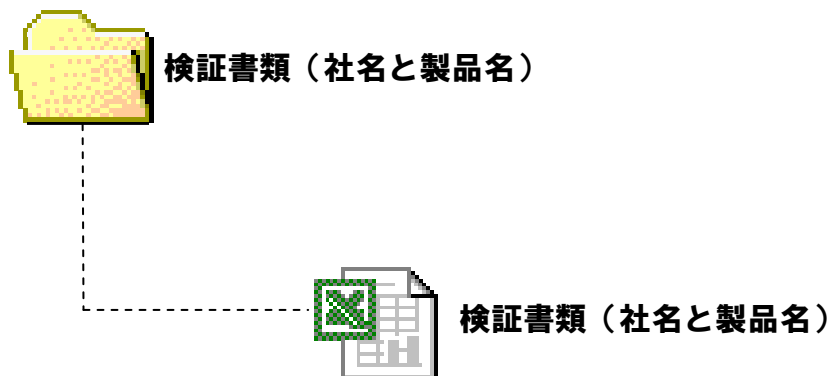
【JEMAI提出用ファイル（日本語版）作成】

【JEMAI提出用ファイル（英語版）作成】

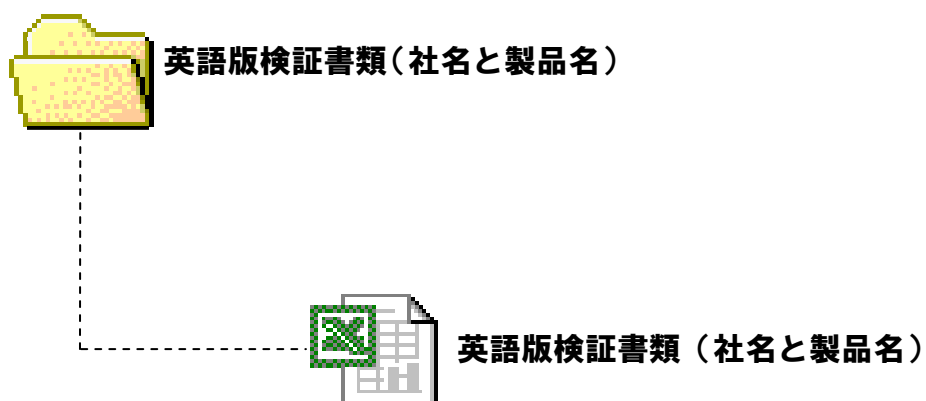
※ 提出書類作成方法詳細は、次項をご参照下さい。

5.1.2 検証書類用フォルダ作成

新規に検証書類用フォルダを作成します。(フォルダの作成場所は任意です)
その中に、JEMAI 提出用ファイルを保存し、JEMAI 提出用となります。



※ 英語版を公開する場合は、以下のファイルを追加して下さい



5.1.3 JEMAI 提出用書類の作成方法

【JEMAI提出用ファイル作成(日本語版)】をクリックし、JEMAI提出用日本語を表示します。

※この作業は、「各種データ表示」および「検証書類用フォルダ作成」作業後に行なってください。

注) 表示には時間がかかります。

5.1.4 ファイルの保存

ファイルを保存する場合は、必ずエクセルの機能「ファイル」→「名前を付けて保存」を選択の上、前項で作成した「検証書類フォルダ」へ保存して下さい。

※英語版も日本語版と同じ手順で作成、ファイルを保存して下さい。

注)作業途中で計算処理を再度行った場合は、「公開データ表示」で手書き修正した部分(文字・画像)は、消去されます。操作には、十分ご注意下さい。

前項の「ファイルの保存」を行なった後の作業は、エクセル機能上で行ないます。
「公開ラベルの様式について(pdf)」をご覧ください、作業を行なってください。

5.1.5 様式1 (PEAD) の作成

A・B・C・D 各セクションへ必要事項を記入の上、保存して下さい。

注)Excelのセキュリティを低にしてない場合は、グラフは自動表示されません。

5.1.6 ファイル作成の注意点

1. データの**修正がある場合は、再度、計算処理**をソフト上で行い、その後に名前を付けて保存したファイルを必ず提出して下さい。
2. データの保存前に、「計算」または「戻る」ボタンを押した場合は、手書き入力を行った部分は、**消去されます**。必ず「名前を付けて保存」を行ってください。
3. 保存したファイルを再度表示させ、文字が表示されていない箇所をすべて訂正して下さい。(特に英語版は半角英数以外で入力した場合、うまく表示されない場合があります→フォントを[HGP創英角ゴシックUB]に変更してください。該当のフォントが無い場合は、任意のフォントで結構です。
4. (グラフの自動生成を選択の方)
グラフエリアの修正は、「公開データ表示:PEAD表示」にて修正し、保存のうえ、再度「JEMAI提出用ファイル」を生成下さい。
5. ラベルごとに認識できるよう、保存名を製品名称等にして頂いても結構です。
6. 「グラフエリア」および「共通備考」の CO₂ (2のみ下付き文字)表示に、十分ご注意下さい。
7. (外部検証申請企業の方)
検証番号と、登録番号は異なります。検証書類を作成する場合は、検証番号(例:K-AA-06-001)の、Kを抜いた番号(例:AA-06-001)をご記入下さい。
尚、登録番号は、登録公開申請後に付与されます。

5.2.製品解析

【製品解析】

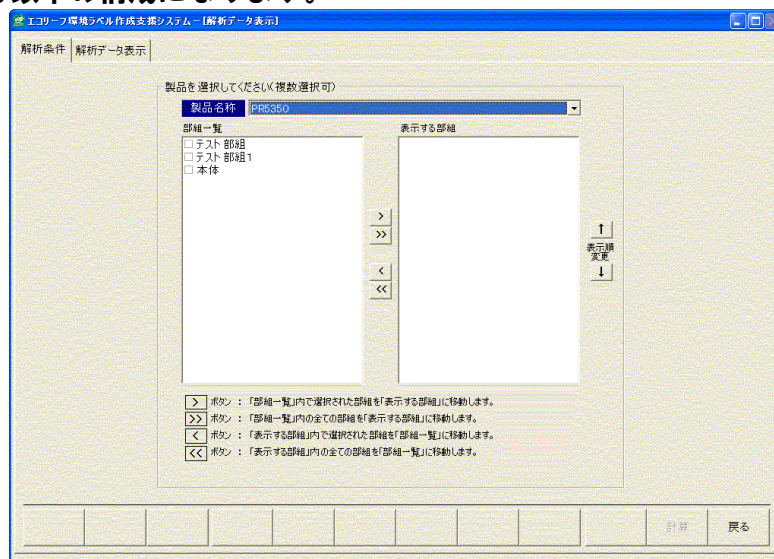
製品概要画面で製品形式を選択し、製品解析ボタンをクリックすると、製品解析画面が表示されます。

●対象データ

製品概要画面と製品解析画面で選択された製品形式が処理対象になります。

【製品解析・操作画面】

製品解析画面は以下の構成になります。







【 操作手順 】

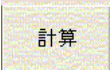
解析データを表示させたい製品名称を選択します。

〔部組一覧〕に選択できる部組名称が表示されます。

〔表示する部組〕に選択した部組名称が表示されます。

〔部組一覧〕のチェックボックスにチェックをし、 ボタンと  ボタンで、データを移動することが出来ます。

同様に、 ボタンと  ボタンで、一括でデータを移動することが出来ます。

表示させたいデータを〔表示する部組〕一覧に移動し、 ボタンをクリックします。

注) 入力途中のデータが存在する場合は、計算処理は実行できません。
計算終了後、〔解析データ表示〕タブの画面を表示します。

5.2.1 解析内訳データ表示

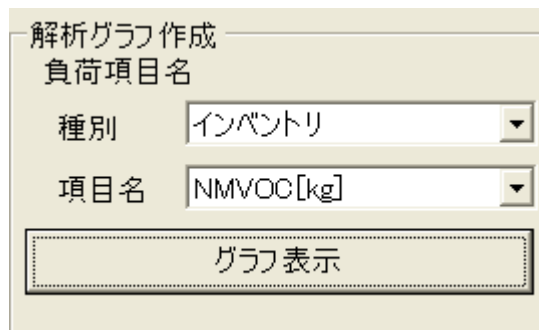
解析内訳データ表示の構成は以下のとおりになります。



5.2.2 グラフ表示

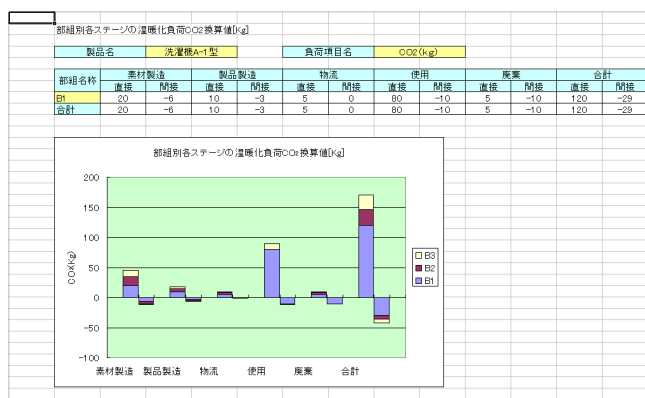
●対象データ

製品解析画面で選択された製品形式が処理対象になります。



【操作手順】

種別欄と項目名欄を選択します。グラフ表示ボタンをクリックします。



※Excel 2000 のマクロ機能を使用しますので Excel のセキュリティレベルを 低 に設定してください。

6. データ保守メニュー

【データ保守メニュー】

バックアップとは・・・本システムに入力したデータのコピーを保存します。

リストアとは・・・本システムに入力したデータを消去し、バックアップしたデータを復元します。

削除とは・・・本システムに入力したデータを消去します。

インポートとは・・・エクスポートしたデータを読み込みます。

エクスポートとは・・・製品単位でデータを書き出します。

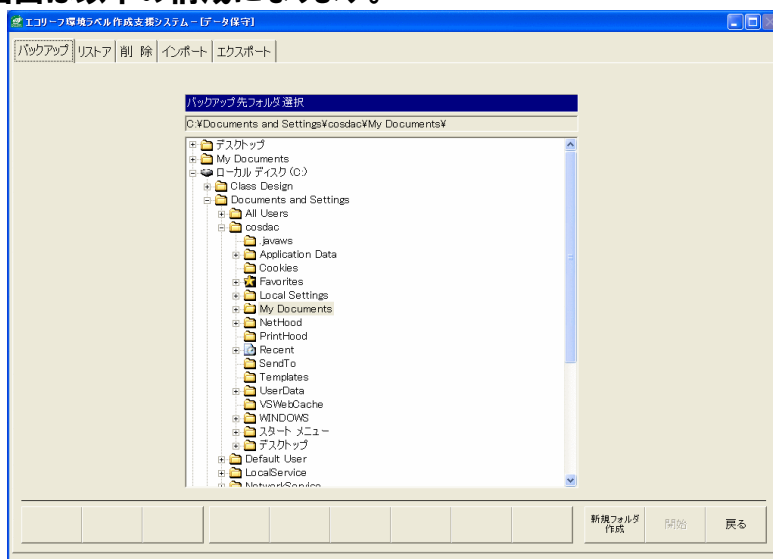
※旧バージョンのデータをV3.2バージョンに取り込むには「4.再インストールマニュアル」に従い、「データの復元」操作を行ってください。旧バージョンシステムで「データ保守」機能のバックアップにて採取したデータをV3.2バージョンの「データ保守」機能のリストア処理で取り込むことはできません。

【操作手順】

データ保守ボタンをクリックし、データ保守画面を表示します。

【データ保守画面】

データ保守画面は以下の構成になります。



6.1.バックアップ

【バックアップ処理操作手順】

バックアップタブをクリックし、バックアップ画面を表示します。

- データのバックアップ

本システムの全データが処理対象になります。

- バックアップ先の選択

画面中央の欄でバックアップ先を選択します。

(新規フォルダ作成ボタンを押すと新しくフォルダを作成し、選択することができます。)

- バックアップ処理

「開始」をクリックすると、本システムで使用するデータのバックアップ処理が行われます。

6.2.リストア

【リストア処理操作手順】

リストアタブをクリックし、リストア画面を表示します。

- データのリストア

本システムで使用するデータのリストア処理を行います。

- リストア先の選択

画面中央の欄より、リストア先を選択します。

- リストア処理

「開始」をクリックすると、本システムで使用するデータのリストア処理が行われます。

リストア処理後、システムの再立ち上げを行います。

6.3.削除

【削除処理操作手順】

削除タブをクリックし、削除画面を表示します。

- 対象データ

指定された製品の全ての情報を削除します。

- 削除する製品形式の選択

削除画面中央の欄で削除する製品形式を選択します。

削除画面中央の欄では複数選択により、複数のデータの削除が可能です。

(上の階層の製品形式が選択されている時、その下の階層の製品形式は、選択されていなくても削除します。)

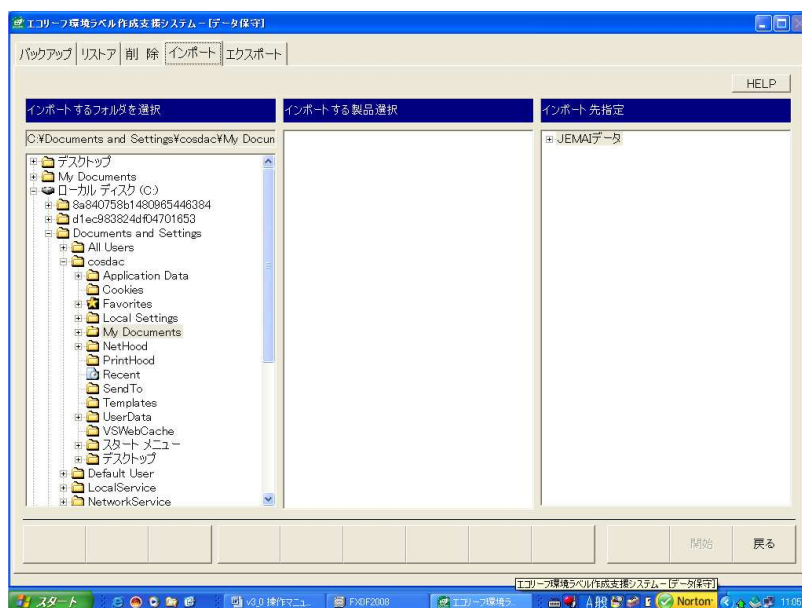
- 削除処理

「開始」をクリックすると、選択された製品形式のデータが削除されます。

6.4.インポート

【インポート処理操作手順】

【インポート】タブをクリックし「ファイル選択」サブ画面を表示します。



【操作説明】

- ①画面左、インポートするフォルダを選択の欄より、インポート処理対象となる製品形式が入ったフォルダを選択します。
- ②画面中央、インポートする製品選択の欄より、ファイルを選択します。
- ③画面右、インポート先指定の欄より、選択したデータのインポート先を選択します。

注)インポートする製品選択の欄で選んだ製品形式により、下表のように指定できる場所が限られます。

インポートする製品選択	→	インポート先指定
製品	→	JEMAIデータ
部組	→	製品
カテゴリ	→	部組
シート (複数のシートを選択する時、 同一のカテゴリでないと不可)	→	カテゴリ
例) 製品用を選択	→	適切な製品の部組

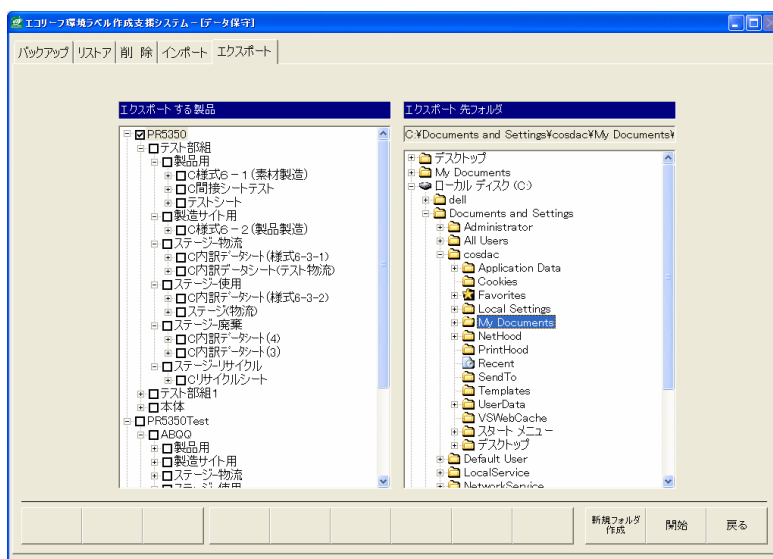
● 実行

「開始」をクリックすると、インポート処理を開始します。

6.5.エクスポート

【エクスポート処理操作手順】

「エクスポート」タブを選択し、エクスポート画面を表示します。



【操作説明】

- ①画面左、エクスポートする製品の欄により、エクスポート処理対象となる製品形式にチェックします。
(エクスポートは製品形式単位からシート単位までエクスポートできます。)
- ②エクスポートファイルが出力される場所を選択してください。

●実行

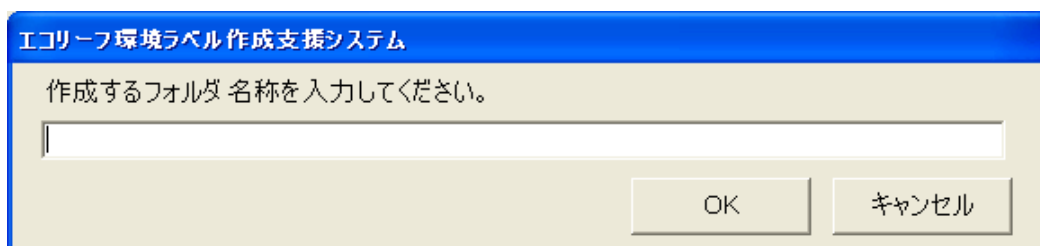
「実行」をクリックすると、エクスポート処理が開始されます。

6.6.エクスポート先・新規フォルダの作成

【新規フォルダ作成処理】

【操作手順】

各画面にある新規フォルダ作成ボタンを押してください。
新規フォルダ作成ボタンを押すと、下の画面が表示されます。



【操作説明】

- ①画面中央のテキストボックスに作成するフォルダの名称を入力してください。
- ②OKボタンを押すと、入力した名称でフォルダが作成されます。
- ③キャンセルボタンを押すと、フォルダの作成を中止します。

付録.計上ステージ一覧

【操作手順】

各画面にある計上ステージボタンを押してください。

計上ステージ

部組操作 製品用 製造サイト用 ステージ用(物流) ステージ用(使用) ステージ用(廃棄) ステージ用(リサイクル)

部組: 111 シート名称: ecoleaf 計上ステージ: 素材製造 影響種別: 直接

製品分類名: a 実施者名: a 記入完了日: 2006/12/01 報告場所名: a

製品形式: a 調査年度: a 開始月: 2006/12 終了月: 2006/12

項目		製品データシート項目		材質分類別質量(kg)		合計		
No	構成部品	ユニット名称	部品名称	部品形態	材質	質量	代表加工形態	組立形態

分類	集計内訳	項目	合計質量(kg)
集計	素材製造	部品等A+部品等B+部品等C	合計質量(kg)
	加工(選択)	部品等B+部品等C	合計重量(kg)
	部品組立(選択)	部品等C	合計重量(kg)
	部品組立(選択)	部品等C	合計重量(kg)

シート追加 シート削除 シート合計 全行選択 行挿入 行削除 項目選択 解説入力 CSVデータ取込 更新 キャンセル 戻る

計上ステージボタンを押すと、押した画面の計上ステージを表示します。

各画面での計上ステージ画面は以下の通り。

・製品用

製品用

シート名称(帳票名)	帳票項目及び計上ステージ
様式2 PEIDSシート	製造素材
	製造製品
	物流
	使用
	廃棄・リサイクル
様式3 製品データシート	1. 製品情報
	2. 製造サイト情報
	3. 物流ステージ情報
	4. 使用ステージ情報
	5. 廃棄・リサイクルステージ情報
様式5-1 内訳データシート(1. 製品)	製造素材
様式5-2 内訳データシート(2. 製造サイト)	製造製品
様式6-3 内訳データシート(3. ステージ用)	物流
様式7-1 LCI計算書	使用
	廃棄・リサイクル
	製造素材
	製造製品
	物流
様式7-2 LCI計算書	使用
	廃棄・リサイクル
	製造素材
	製造製品
	物流

閉じる

・製造サイト用

F03_計上ステージ表示

製造サイト用

シート名称(帳票名)	帳票項目及び計上ステージ	
様式2 PEIDSシート	製造素材	
	製造製品	
	物流	
	使用	
	廃棄・リサイクル	
様式3 製品データシート	1. 製品情報	
	2. 製造サイト情報	消費
		排出
	3. 物流ステージ情報	
	4. 使用ステージ情報	4.1 製品本体 4.2 交換・消耗品
様式6-1 内訳データシート(1. 製品)	5. 廃棄・リサイクルステージ情報	
様式6-2 内訳データシート(2. 製造サイト)		
様式6-3 内訳データシート(3. ステージ用)		
様式7-1 LCI計算書	製造素材	
	製造製品	
	物流	
	使用	
	廃棄・リサイクル	
様式7-2 LCI計算書	製造素材	
	製造製品	
	物流	
	使用	
	廃棄・リサイクル	

閉じる

・ステージ用(物流)

F03_計上ステージ表示

ステージ用(物流)

シート名称(帳票名)	帳票項目及び計上ステージ	
様式2 PEIDSシート	製造素材	
	製造製品	
	物流	
	使用	
	廃棄・リサイクル	
様式3 製品データシート	1. 製品情報	
	2. 製造サイト情報	消費
		排出
	3. 物流ステージ情報	
	4. 使用ステージ情報	4.1 製品本体 4.2 交換・消耗品
様式6-1 内訳データシート(1. 製品)	5. 廃棄・リサイクルステージ情報	
様式6-2 内訳データシート(2. 製造サイト)		
様式6-3 内訳データシート(3. ステージ用)		
様式7-1 LCI計算書	製造素材	
	製造製品	
	物流	
	使用	
	廃棄・リサイクル	
様式7-2 LCI計算書	製造素材	
	製造製品	
	物流	
	使用	
	廃棄・リサイクル	

閉じる

・ステージ用（使用）

F03 計上ステージ表示

ステージ用(使用)

シート名称(帳票名)	帳票項目及び計上ステージ	
様式2 PEIDSシート	製造素材	
	製造製品	
	物流	
	使用	<input type="radio"/>
	廃棄・リサイクル	
様式3 製品データシート	1. 製品情報	
	2. 製造サイト情報	消費 排出
	3. 物流ステージ情報	
	4. 使用ステージ情報	4.1 製品本体 4.2 交換・消耗品
	5. 廃棄・リサイクルステージ情報	
様式6-1 内訳データシート(1. 製品)		
様式6-2 内訳データシート(2. 製造サイト)		
様式6-3 内訳データシート(3. ステージ用)		<input type="radio"/>
様式7-1 LCI計算書	製造素材	
	製造製品	
	物流	
	使用	<input type="radio"/>
	廃棄・リサイクル	
様式7-2 LCI計算書	製造素材	
	製造製品	
	物流	
	使用	<input type="radio"/>
	廃棄・リサイクル	

閉じる

・ステージ用（廃棄）／（リサイクル用）

F03 計上ステージ表示

ステージ用(廃棄)

シート名称(帳票名)	帳票項目及び計上ステージ	
様式2 PEIDSシート	製造素材	
	製造製品	
	物流	
	使用	
	廃棄・リサイクル	<input type="radio"/>
様式3 製品データシート	1. 製品情報	
	2. 製造サイト情報	消費 排出
	3. 物流ステージ情報	
	4. 使用ステージ情報	4.1 製品本体 4.2 交換・消耗品
	5. 廃棄・リサイクルステージ情報	<input type="radio"/>
様式6-1 内訳データシート(1. 製品)		
様式6-2 内訳データシート(2. 製造サイト)		
様式6-3 内訳データシート(3. ステージ用)		<input type="radio"/>
様式7-1 LCI計算書	製造素材	
	製造製品	
	物流	
	使用	
	廃棄・リサイクル	<input type="radio"/>
様式7-2 LCI計算書	製造素材	
	製造製品	
	物流	
	使用	
	廃棄・リサイクル	<input type="radio"/>

閉じる